



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	180,900	0.8	9,054	5.2	9,312	3.8	4,685	△8.7
28年3月期第3四半期	179,505	2.9	8,603	13.6	8,972	14.6	5,129	17.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第3四半期	157.30		—					
28年3月期第3四半期	172.23		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	230,209	134,518	58.4	4,516.46
28年3月期	226,638	130,948	57.8	4,396.57

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 134,518百万円 28年3月期 130,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
29年3月期	—	19.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	239,000	4.0	12,300	41.2	12,500	34.3	6,200	19.2	208.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	29,784,400株	28年3月期	29,784,400株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	294株	28年3月期	294株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	29,784,106株	28年3月期3Q	29,784,106株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	8
(1) 商品部門別販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外では、米国の金融政策正常化の影響、中国経済の減速、英国のEU離脱など、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、12店舗の新規出店及び4店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しもを行い5店舗を閉鎖いたしました。これにより当第3四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり371店舗（内1店舗は休業中）となりました。

売上高1,809億0百万円（前年同期比0.8%増）、売上総利益595億32百万円（前年同期比0.1%増）、売上総利益率32.9%（前年同期比0.2ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、経費削減効果もあり504億77百万円（前年同期比0.7%減）、対売上高比率は27.9%（前年同期比0.4ポイント減）となりました。

この結果、営業利益90億54百万円（前年同期比5.2%増）、経常利益93億12百万円（前年同期比3.8%増）となりました。なお、「平成28年熊本地震」の影響により固定資産や棚卸資産の毀損又は滅失等による震災関連費用10億5百万円、また平成28年9月に発生した台風16号の被害による災害関連費用34百万円を、災害による損失として特別損失に計上したことにより、四半期純利益は46億85百万円（前年同期比8.7%減）となりました。営業利益、経常利益の段階では増収増益となりましたが、四半期純利益は減益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は738億56百万円（前年同期比1.6%増）、売上総利益256億97百万円（前年同期比1.7%増）、売上総利益率は34.8%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は527億22百万円（前年同期比1.9%増）、売上総利益139億68百万円（前年同期比0.6%増）、売上総利益率は26.5%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は390億19百万円（前年同期比2.2%減）、売上総利益154億18百万円（前年同期比2.3%減）、売上総利益率は39.5%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は153億1百万円（前年同期比1.0%増）、売上総利益44億48百万円（前年同期比1.1%減）、売上総利益率は29.1%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、922億74百万円（前事業年度末比22億86百万円増）となりました。増加の主な要因は、商品の減少（前事業年度末比24億60百万円減）などがあつたものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比45億60百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,379億35百万円（前事業年度末比12億83百万円増）となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加（前事業年度末比14億93百万円増）によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、784億29百万円（前事業年度末比17億11百万円減）となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比37億17百万円増）、1年内返済予定の長期借入金の増加（前事業年度末比6億97百万円増）などがあったものの、未払法人税等の減少（前事業年度末比13億7百万円減）、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比49億75百万円減）などによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、172億60百万円（前事業年度末比17億11百万円増）となりました。増加の主な要因は、長期借入金の増加（前事業年度末比13億80百万円増）などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,345億18百万円（前事業年度末比35億70百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成28年11月11日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

当第3四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,420	27,981
売掛金	2,620	2,890
商品	60,889	58,428
その他	3,057	2,977
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	89,987	92,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,235	72,914
土地	46,598	46,582
建設仮勘定	888	765
その他(純額)	4,765	4,717
有形固定資産合計	123,487	124,980
無形固定資産	2,987	2,981
投資その他の資産	10,176	9,972
固定資産合計	136,651	137,935
資産合計	226,638	230,209
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,252	35,969
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	2,308	3,006
未払法人税等	2,491	1,183
未払金	4,859	4,661
設備関係支払手形	10,243	5,268
賞与引当金	1,059	522
役員賞与引当金	34	—
ポイント引当金	1,337	1,241
その他	2,923	3,946
流動負債合計	80,141	78,429
固定負債		
長期借入金	4,005	5,386
退職給付引当金	2,754	2,904
役員退職慰労引当金	1,492	1,528
資産除去債務	4,603	5,040
その他	2,692	2,400
固定負債合計	15,549	17,260
負債合計	95,690	95,690

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	123,111	126,664
自己株式	△0	△0
株主資本合計	130,872	134,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	93
評価・換算差額等合計	75	93
純資産合計	130,948	134,518
負債純資産合計	226,638	230,209

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	179,505	180,900
売上原価	120,061	121,368
売上総利益	59,443	59,532
販売費及び一般管理費	50,840	50,477
営業利益	8,603	9,054
営業外収益		
受取利息	21	21
受取配当金	7	8
受取手数料	114	121
受取家賃	155	164
その他	275	183
営業外収益合計	575	498
営業外費用		
支払利息	133	129
不動産賃貸原価	57	66
その他	15	45
営業外費用合計	206	240
経常利益	8,972	9,312
特別利益		
固定資産売却益	13	1
受取保険金	216	63
特別利益合計	230	64
特別損失		
固定資産除却損	55	14
減損損失	362	775
災害による損失	155	1,039
その他	7	26
特別損失合計	580	1,856
税引前四半期純利益	8,621	7,520
法人税等	3,491	2,835
四半期純利益	5,129	4,685

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	72,700	51,738	39,911	164,350	15,154	179,505	179,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	72,700	51,738	39,911	164,350	15,154	179,505	179,505
セグメント利益	25,273	13,885	15,788	54,947	4,496	59,443	59,443

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	73,856	52,722	39,019	165,599	15,301	180,900	180,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	73,856	52,722	39,019	165,599	15,301	180,900	180,900
セグメント利益	25,697	13,968	15,418	55,084	4,448	59,532	59,532

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日) (至 平成27年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	72,700	40.5	73,856	40.8	101.6
生活用品	51,738	28.8	52,722	29.1	101.9
家具・ホームファッション用品	39,911	22.2	39,019	21.6	97.8
その他	15,154	8.5	15,301	8.5	101.0
計	179,505	100.0	180,900	100.0	100.8

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリー、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他